

あの日出会った彼の方へ感謝を込めて

株式会社日立システムズフィールドサービス
支社統括本部 東日本支社 関東支店
第3サービス部 第1グループ

河原井 望

あらかじめ未経験のド新人であることをご理解 ご容赦頂いたうえでお読み下さると幸甚です。

転職にて当社へ入社しておよそ1年弱が経とうとしている。

前職にて社内ヘルプデスクの窓口担当者として約6年勤めていた中で、保守員である彼の方と出会った。

当時は前職の社内インフラに関わるお困り事相談係といった位置付けであり、やれ会社携帯の画面を割ってしまった、やれPCが動かなくなった、やれプリンターが目詰まりした、やれ出先でPCを滑落させてしまった、やれメールの送受信が出来なくなった、やれログインパスワードを失念した、時には世間話がしたくて電話をしてくるユーザーの相手など、常に左耳には受話器が張り付きいつも耳の皮が剥けているような業務内容だった。

そんな中PC修理依頼をすると、決まって保守員として来訪して下さるのが彼の方であった。

彼の方との付き合いが長くなるうちに、互いに手土産を交えて冗談を飛ばし合うような仲になった。

当時自分はPC修理なんて、機械に詳しくて手先が器用な方でないと保守員なんて務ま

らないだろうな～大変な仕事だな～くらいの軽い気持ちで、いつも修理の立ち合いをしていた。

彼と仲良くなるうち、技術の精確さ、経験による正確な判断力と柔軟な対応、保守サービスに対する考え方や心構え、エンドユーザーである私たちへの細やかな気遣いと心配りなどを感じ取るようになっていった。

その後彼の方からお声を掛けて頂き、ご縁があって現在は当社への入社が叶い同じ部署へ配属となった。

だが私自身は技術がある訳でもなく、保守員でもない。

保守員ではないが、同じ企業同じ部署に勤めるものとして如何にこの仕事が大変であるかや、保守サービスの大切さや技術精度、お客様への真摯な対応と思いやりなど、多くのものを社員の皆様から懇切丁寧にご教授頂いている。

彼との出会いがなければ、自分はこの場でこうして働くことなど叶わなかっただろう。

付け焼き刃的な知識でも、保守サービスの大切さに直に触れていたからこそわかる大事なことがたくさんある。

私はこの気持ちと経験を糧に、今後の会社員人生と人間力を高めていけるよう努力し続けていくと心に決めた。